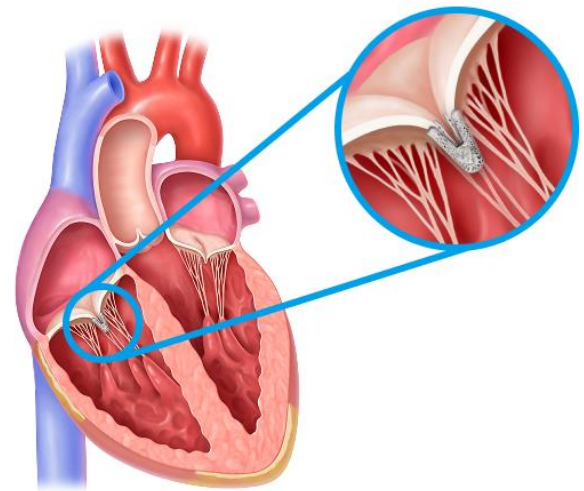


県内初！心臓カテーテル治療「TriClip」を導入 “忘れられた弁”と呼ばれる三尖弁に新たな治療選択肢

済生会熊本病院は、このたび心臓の病気である三尖弁閉鎖不全症に対し、カテーテルを使った新しい治療「TriClip（トライクリップ）」を県内で初めて導入しました。

■ 三尖弁とは

心臓には血液の流れを調整する「弁」がいくつかありますが、そのひとつが三尖弁です。この三尖弁はこれまで治療が後回しにされることが多く、「**忘れられた弁**」と呼ばれてきました。三尖弁がうまく閉じなくなると血液が逆流し、息切れやむくみなどの症状を引き起こします。**特に高齢の方に多く見られる病気です。**



■ TriClip（トライクリップ）とは

今回導入した TriClip は、胸を切らずに行う新しい治療法です。足の付け根などから細い管（カテーテル）を入れ、心臓の中でゆるんだ弁をつまむことで血液の逆流を減らします。体への負担が少ないため、これまで手術が難しかった高齢の方や持病のある方にも治療の可能性が広がります。

[👉特設サイトはこちら](#)

■ 当院の取り組み

構造的な心疾患治療、超音波専門医、心不全の診療に特化した医師（循環器内科医師）、心臓血管外科医、麻酔科医、放射線技師や看護師といった「多職種ハートチーム」が一丸となり、それぞれの専門性を発揮する機動的なチーム体制を構築しています。診断から治療、術後のリハビリに至るまで、多角的な視点で患者さん一人ひとりをサポートします。



★手術の撮影をご希望の場合はお申し付けください★

この件に関するお問い合わせは、済生会熊本病院 広報室 澤村・金子 までお願いいたします。

TEL : **080-4611-0868** FAX : 096-351-4323 E-mail : info@saiseikaikumamoto.jp